



第5回 福証IRフェア in 北九州

平成25年8月1日
株式会社エムビーエス
代表取締役 山本 貴士



会社概要



ビジネスモデル・事業内容



平成25年5月期決算概要 及び平成26年5月期予想について

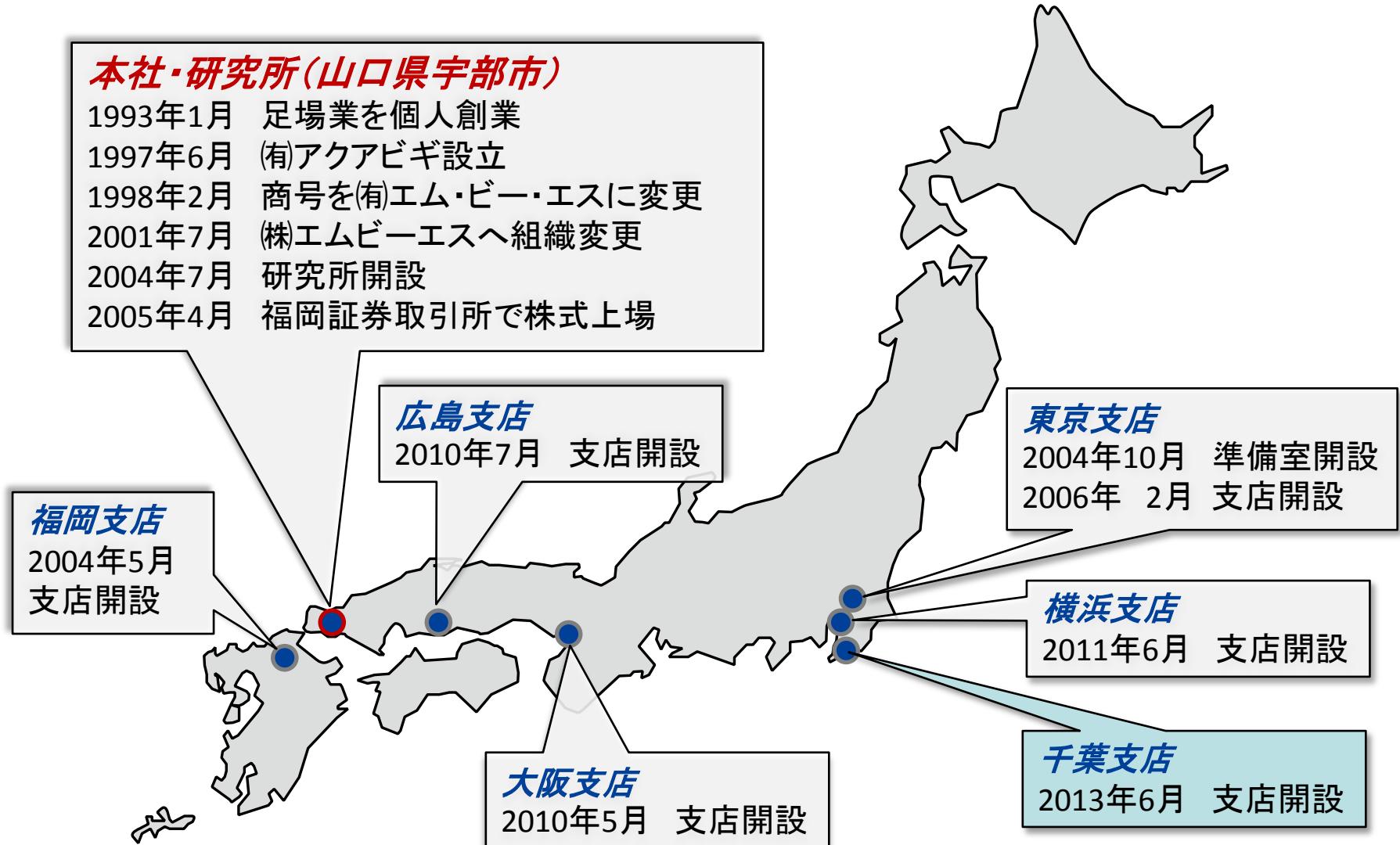
概要

| | |
|---------|---------------------------|
| 商 号 | 株式会社 エムビーエス |
| 設 立 | 1997年6月20日 |
| 資 本 金 | 1億8,501万2,000円 |
| 代 表 者 | 代表取締役 山本 貴士 |
| 取 締 役 | 松岡弘晃、高木弘敬、栗山征樹、井野口房雄、伊藤尚毅 |
| 監 査 役 | 宮崎修五、久保田克秀、前田 隆 |
| 事 業 概 要 | 住宅及び諸建造物の内外装リフォーム全般 |
| | 建築工事業、不動産業 |
| | その他リフォームに関するコンサルティング |
| | 機能性塗料の開発及び販売 |
| 従 業 員 数 | 63名(平成25年7月現在) |

事業所展開

本社・研究所(山口県宇部市)

1993年1月 足場業を個人創業
1997年6月 (有)アクアビギ設立
1998年2月 商号を(有)エム・ビー・エスに変更
2001年7月 (株)エムビーエスへ組織変更
2004年7月 研究所開設
2005年4月 福岡証券取引所で株式上場



経営理念

ドラマ化される会社にする

行動規範

- 一 建設業界での「新たなる常識づくり」に対して興味と情熱を持ち誠意ある姿勢で仕事に努めること
- 一 顧客満足を第一として、高品質な施工を適正価格にて提供すべく絶えず追及し研鑽し続けること
- 一 事業に携わるすべての関係者が協調して運営にあたることを旨とすること



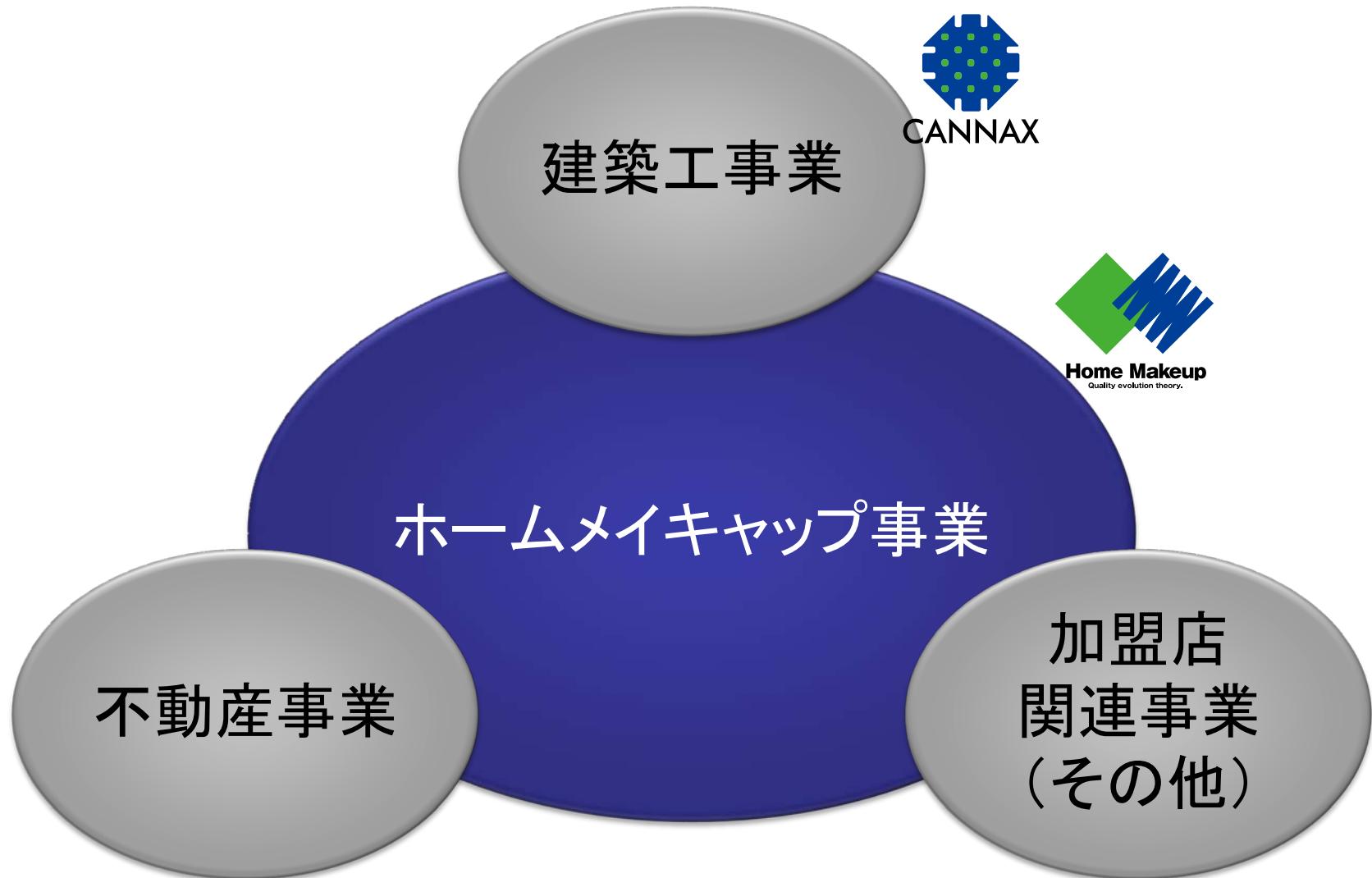
会社概要



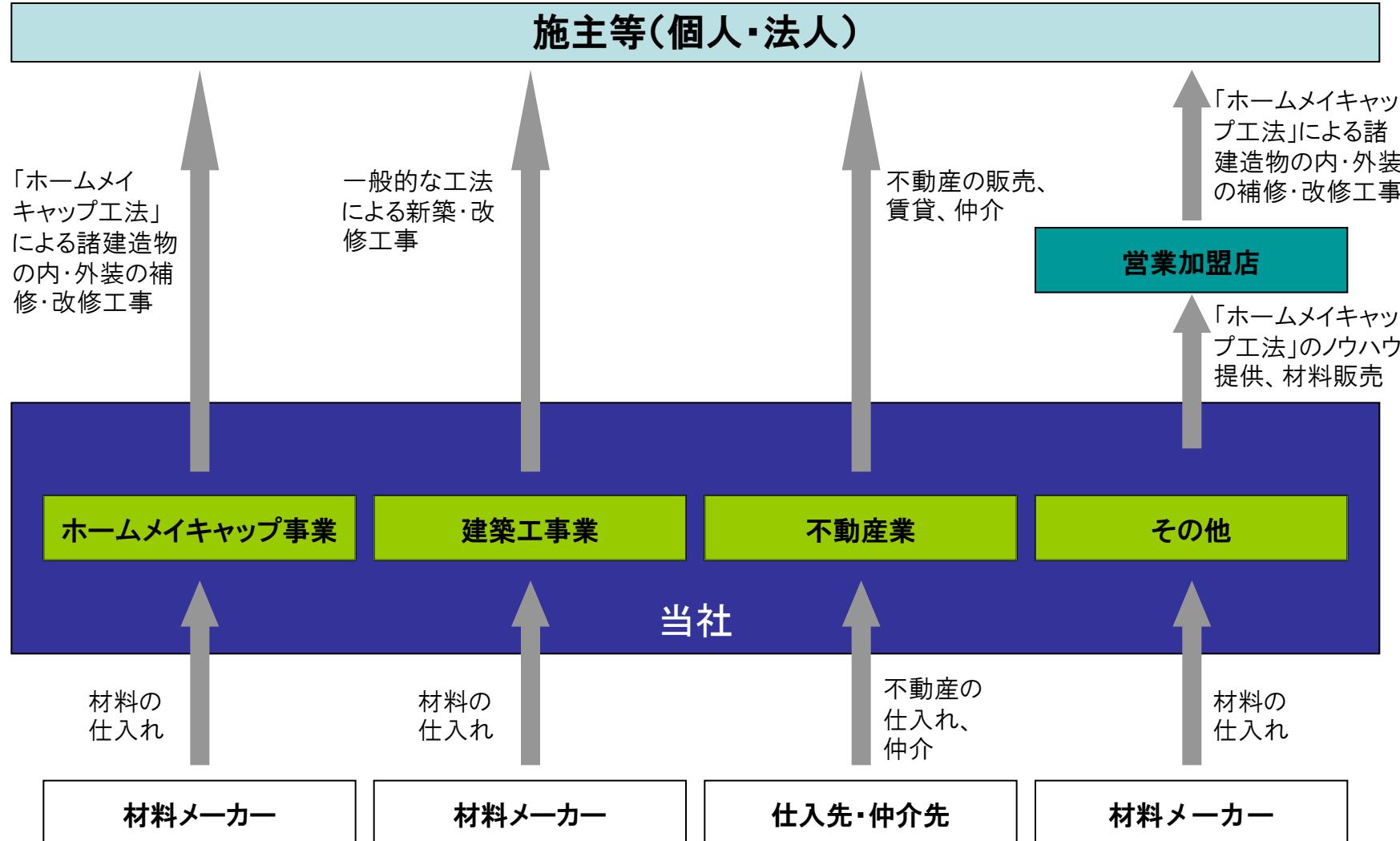
ビジネスモデル・事業内容



平成25年5月期決算概要
及び平成26年5月期予想について

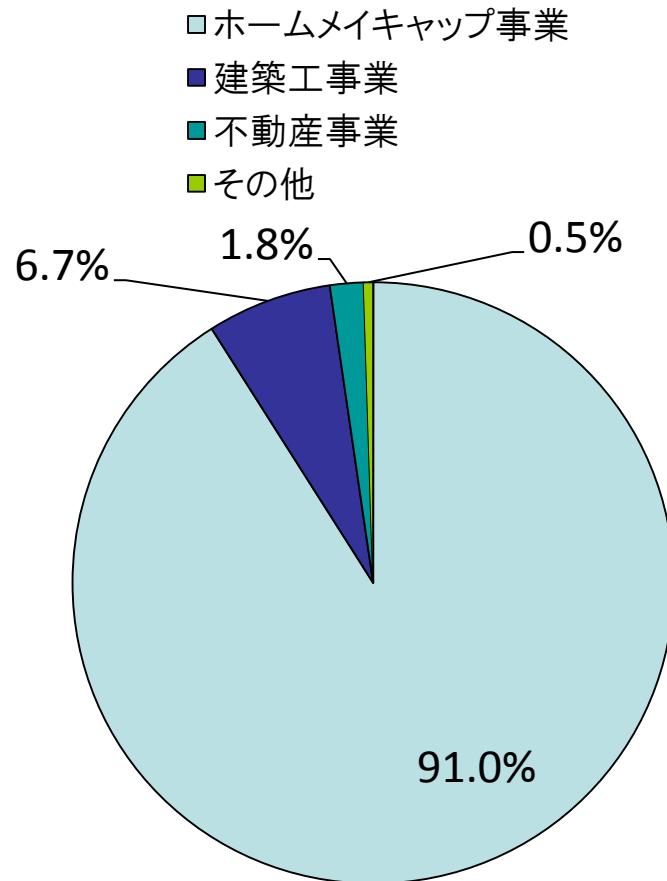


事業系統図



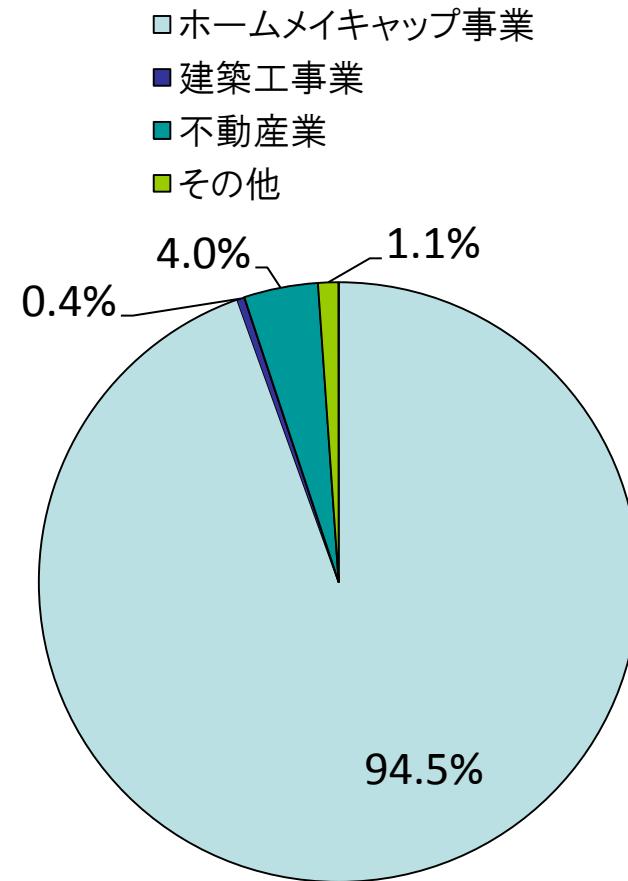
セグメント別比較

セグメント別売上高



平成25年5月期

セグメント別利益



平成25年5月期

当社の強み

- 訪問販売は行わず、パートナー（工務店等）との提携ネットワーク方式による受注形態
- ワンストップ方式における完全責任施工体制
- 独自開発技術「ホームメイキヤップ工法」での施工

ホームメイキヤップ事業

「ホームメイキヤップ」とは、弊社独自の施工技術により、劣化した建物の外壁の美観を再現し、環境への耐性を強化するサービスを総称する弊社の登録商標です。



主な4つの施工タイプ

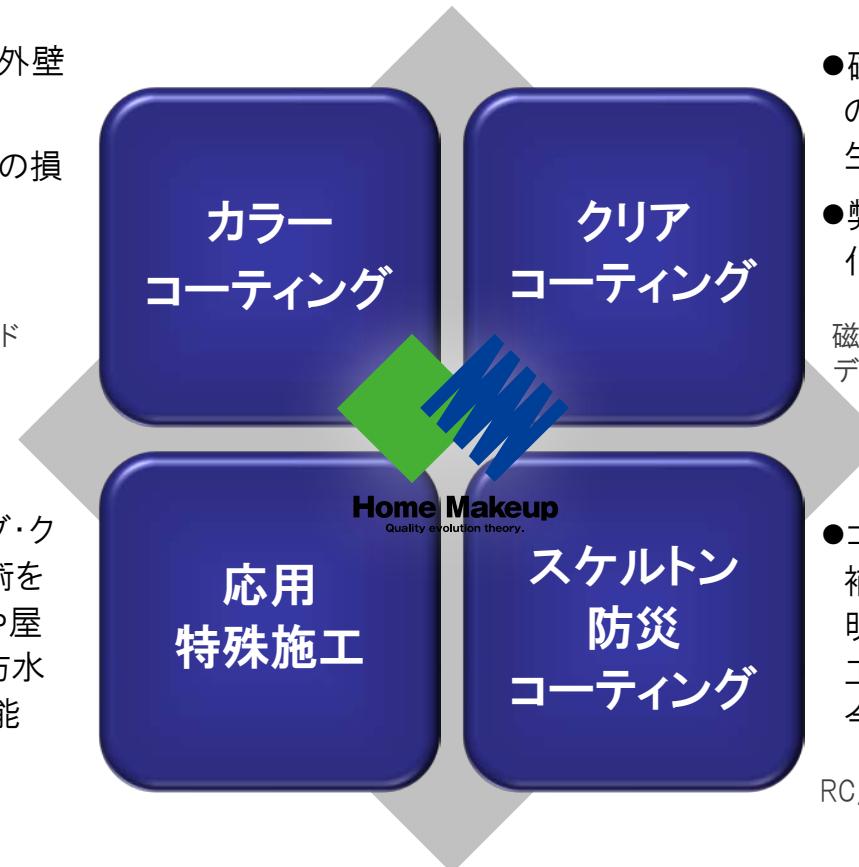
ホームメイキヤップは、対象となる外壁のタイプと劣化の症状により、おおまかに分類して4つの施工タイプから成り立っています。

- 外壁リフォームの主流である外壁の再塗装に対応した施工
- 亀裂や爆裂の補修など軽度の損傷部位の補修に対応

RC/モルタル、ALC/パワーボード
窯業サイディング材、その他

- 基本となるカラーコーティング・クリアコーティング施工での技術を外壁以外にも応用し、外溝や屋根等のコーティング、止水・防水などの特殊工事まで対応可能

防水・防カビ・屋根・基礎、他



- 磁器タイルや窯業サイディング等の複雑な形状や色彩の外壁を蘇生させるための施工
- 弊社独自のCP処理工法により白化現象やチョーキングを解決する

磁器タイル、RC/モルタル、窯業サイディングボード、煉瓦/木/ガラス

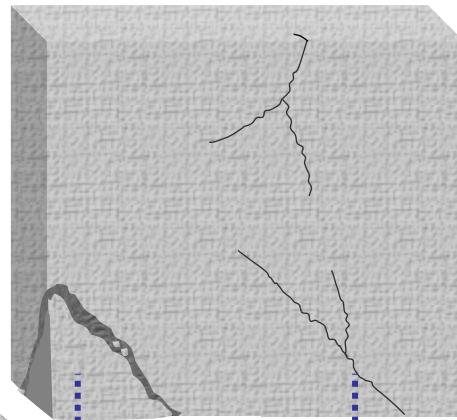
- コンクリート構造物に対する耐震補強・はく落防止を可能とする透明な塗布接着形シート工法。施工後も素地表面が透けて見える、今最も注目されている工法。

RC/モルタル、他コンクリート構造物

カラーコーティング

ヘアークラックや爆裂等の壁面の物理的な損傷に対して、追従性と速乾性に優れた特殊な補修材にて強度を再生し、さらにカラーコーティング剤の塗布により美観も再生します。また、紫外線や酸性雨からの保護も実現します。

壁面の劣化



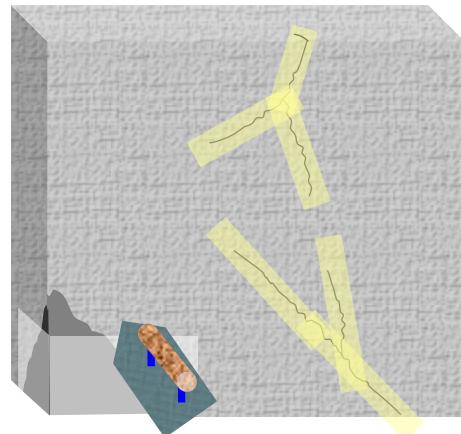
爆 裂

雨水や空気中の二酸化炭素の侵食により外壁内部の鉄筋が腐食膨張し外壁そのものを崩壊させている現象。

ヘークラック

気温変化や乾燥による外壁材の収縮や振動等によって生じる壁面の亀裂。

補修処理



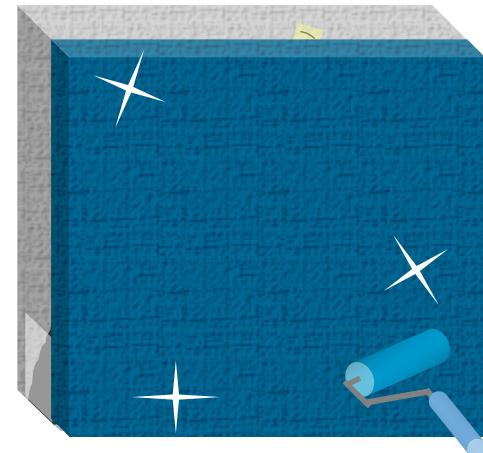
■爆裂部

素地補修後、グラスファイバー製のシートにて補強

■ヘークラック部

高追従性の伸縮テープにて亀裂の進行を阻止

カラーコーティング



特殊カラーコーティング剤による補修面の保護と美観の形成。

カラーコーティング施工例

アパート



施工前

施工後

一般住宅



施工後

ビル



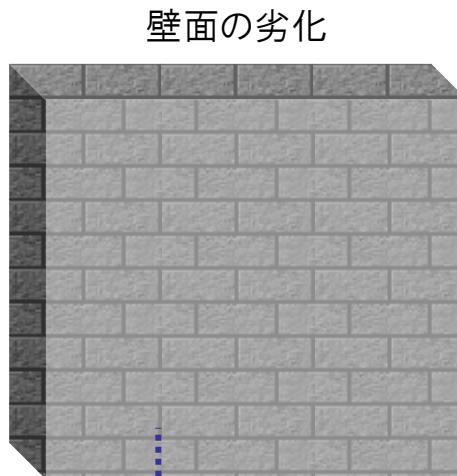
施工後

教会



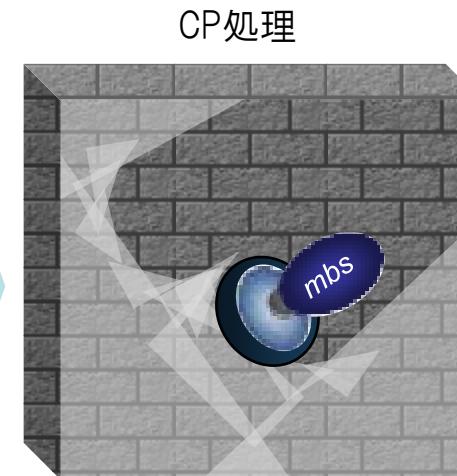
施工後

無色透明なコーティング剤のため、素地そのものの意匠性を活かし、美観に優れた塗膜を形成します。塗膜は耐久性に富み建物を効果的に水分の浸透から守り、コンクリートの中性化を防ぎます。



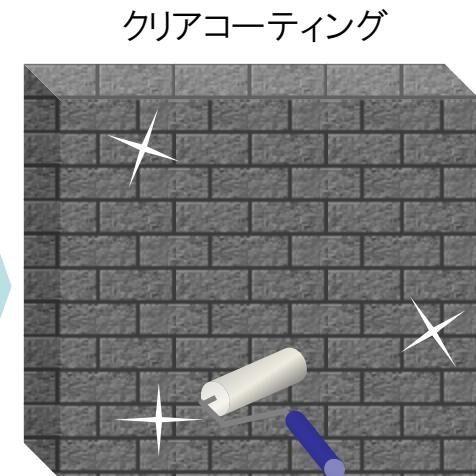
チョーキング

酸性雨や紫外線の影響で塗膜が劣化し、粉末状に浮き出している現象。



独自開発の専用工具による壁面の研磨(5-15ミクロン程度)

CP処理…コートポリッシング
(塗装研磨/Coat Polishing)工法
特許番号:第3185772号



無色透明の特殊コーティング剤による仕上げ。



クリアコーティング施工例

テーマパーク



歴史的建造物



施工後

施工後

一般住宅



施工後

マンション



施工後

ビル



施工後

応用特殊施工

ホームメイキヤップはさまざまな箇所に応用可能

防水コーティング



防カビコーティング



止水コーティング



屋根コーティング



基礎コーティング



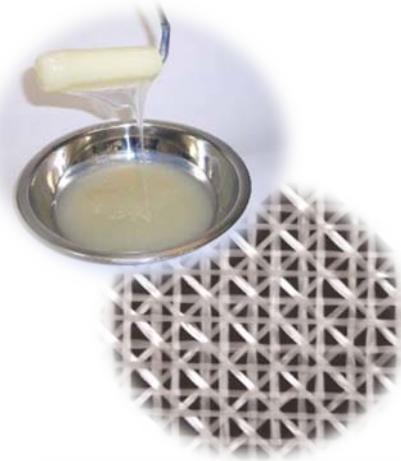
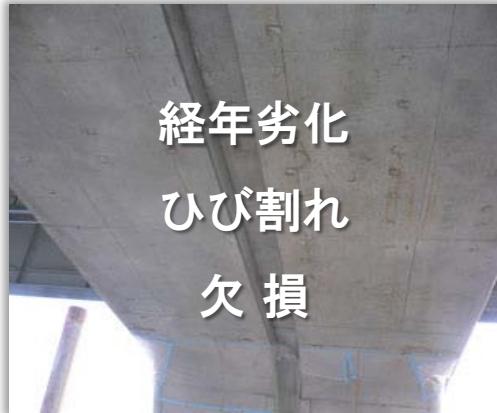
はく落防災コーティング



スケルトン防災コーティング

コンクリートの表面が透けて見える。
革新的な耐震補強・はく落防災コーティング工法。

コンクリート構造物 + (MBSクリアガード + ガラス纖維シート) = スケルトン防災コーティング



従来の色付きコーティングの問題点

コンクリート表面が目視不可能

- ・表面保護内の異常箇所の特定が困難
- ・点検効率が悪い



作業工程・使用材料が複雑

- ・膨大な手間と時間が必要
- ・管理費や仮設費のコスト負担大



繊維が硬い、または厚い

- ・細かい部材、部分の施工が困難
- ・作業効率の低下、品質の低下

スケルトン防災コーティングの特徴

コンクリート表面が透けて見える

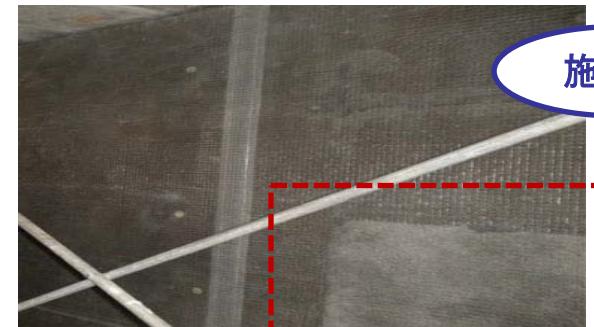
- 点検精度向上
- メンテナンス費抑制
- 異常箇所をすばやく特定

ガラス纖維シートが柔らかい

- 細かい部分の施工が可能

シンプルな作業工程と使用材料

- 30~50%工期短縮
- 使用材料は2種類のみ(プライマー不要)



水蒸気透過性

- 防水性を併せ持つ

構造物の長寿命化

- 中性化抑制性
- 遮水・遮塩性
- 耐候性向上
- その他諸性能

構造物のじん性向上

- 構造物の粘り強さ向上・強度再生
- 二次災害の防止

施工後も補修箇所を目視可能

適用項目

あらゆるコンクリート構造物・施工環境に対応

適用構造物

- 橋桁・橋脚・橋台
- 建築建物
- 従来色付きコーティングの点検窓
- トンネル
- ボックスカルバート
- その他のコンクリート構造物

適用範囲

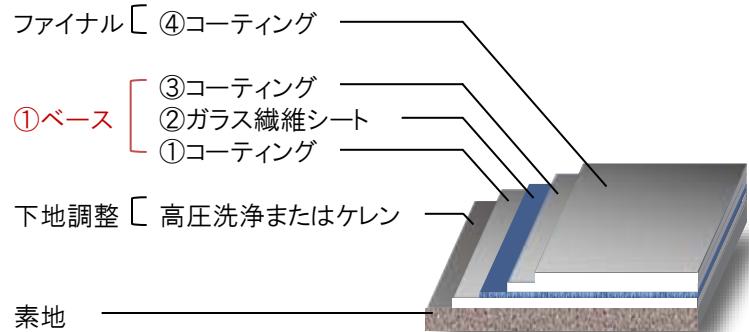
- 土木・建築における多種多様の構造物で新設・改修に適用可能
- 部材:コンクリート・モルタル
- 早期解放が必要な場所

適用条件

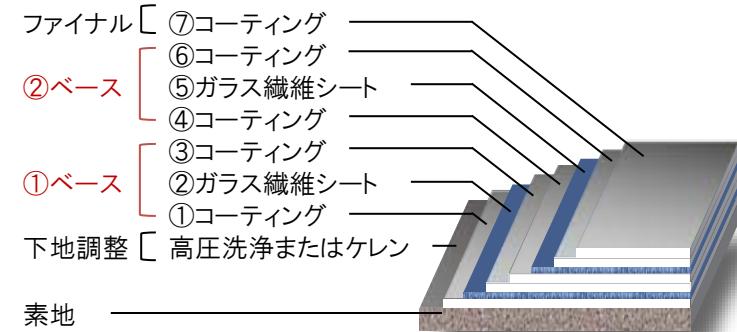
- +2°C以上で施工可能 (既存工法は、+5°C以上)
- コンクリート表面の含水率が20%未満まで施工可能 (既存工法:8%を超えると施工不可)
- 雨天施工可能
- 資材ヤードは不要
- 大型重機・機器・車両は不要
- 狹い場所でも施工可能(必要幅50cm以上)
- 素地内部から水蒸気の放出がある場合も施工可能

工法タイプ

スケルトンはく落防災コーティング



スケルトン耐震防災コーティング



| 工法名 | コーティング塗布量(L/m ²) | | | NETIS | 共同開発 |
|---------------------------|------------------------------|-------|-----|-------------|------------------|
| | ベース | ファイナル | 合計 | | |
| スケルトン 耐震防災コーティング | ①1.1 | 0.4 | 2.6 | CG-070014-A | - |
| | ②1.1 | | | | |
| スケルトン はく落防災コーティング | 1.1 | 0.4 | 1.5 | CG-100024-A | - |
| 薄膜スケルトン はく落防災コーティング | 0.8 | 0.2 | 1.0 | - | 西日本高速道路(株) |
| 超薄膜スケルトン はく落防災コーティング | 0.5 | 0.2 | 0.7 | CG-120025-A | パシフィックコンサルタンツ(株) |
| スケルトン覆工目地部 はく落防災コーティング | 0.4 | 0.1 | 0.5 | - | - |

スケルトン防災コーティング施工例

赤穂線西大寺Bo他
(既設455m²)



施工前



施工後



施工後全景

H24舞浜大橋
右岸高架橋(海側)
耐震補強工事
(既設324m²)



施工前



施工後



施工後全景

阪神高速道路
土木維持
コンクリート維持工事
(既設154m²)



施工前



施工後



施工後アップ

スケルトン防災コーティング施工実績 I



| | 工事名 | 工事場所 | 発注者 | 面積 | 工期 | 仕様 |
|----|----------------------------|------|---------------------------|---------|----------|-----|
| | | | | (m²) | 終了 | |
| 1 | 山陽維持工事のうち橋梁補修工 | 山口県 | 国土交通省 中国地方整備局 | 98.0 | 2009年1月 | 厚膜 |
| 2 | 第二京阪道路 杉高架橋東(PC上部工)工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 614.0 | 2009年8月 | 厚膜 |
| 3 | 広国管内西部橋梁補修工事 | 広島県 | 国土交通省 中国地方整備局 | 365.0 | 2009年9月 | 厚膜 |
| 4 | 一般国道490号美東大田道路 | 山口県 | 山口県 | 7.9 | 2009年10月 | 厚膜 |
| 5 | 第二京阪道路 小路トンネル(その1)工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 56.5 | 2009年10月 | 厚膜 |
| 6 | 第二京阪道路 小路トンネル(その2)工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 273.3 | 2010年2月 | 薄膜 |
| 7 | 第二京阪道路 三ツ島西工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 963.0 | 2009年11月 | 薄膜 |
| 8 | 第二京阪道路 交野地区工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 1,066.0 | 2010年1月 | 薄膜 |
| 9 | 第二京阪道路 三ツ島東工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 2,540.2 | 2010年1月 | 薄膜 |
| 10 | 第二京阪道路 上馬伏地区工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 1,269.0 | 2010年1月 | 薄膜 |
| 11 | 第二京阪道路 門真地区工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 2,262.0 | 2010年3月 | 薄膜 |
| 12 | 第二京阪道路 東倉治地区工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 4,140.0 | 2010年3月 | 薄膜 |
| 13 | 第二京阪道路 枚方地区工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 1,590.4 | 2010年1月 | 薄膜 |
| 14 | 第二京阪道路 交野地区工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 494.0 | 2010年3月 | 薄膜 |
| 15 | 第二京阪道路 打上工事 | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 455.5 | 2010年2月 | 薄膜 |
| 16 | 四国保全工事 | 香川県 | 西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社 | 126.0 | 2010年10月 | 薄膜 |
| 17 | 平成21年度 25号壬生野IC建設工事 | 三重県 | 国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所 工務課 | 2.0 | 2010年10月 | 薄膜 |
| 18 | 吉和IC雪氷倉庫爆裂補修工事 | 広島県 | 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 | 235.1 | 2010年12月 | 薄膜 |
| 19 | 俱知安駅構内南一線Bo補修 | 北海道 | 北海道旅客鉄道株式会社 | 14.8 | 2011年1月 | 薄膜 |
| 20 | 山口西部管内橋梁補修工事 | 山口県 | 国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 | 72.0 | 2011年4月 | 厚膜 |
| 21 | 那須ICトールゲート剥落補修工事(上下線) | 栃木県 | 東日本高速道路株式会社 | 14.0 | 2011年4月 | 厚膜 |
| 22 | 矢坂ICトールゲート剥落補修工事(上り線) | 栃木県 | 東日本高速道路株式会社 | 7.0 | 2011年5月 | 厚膜 |
| 23 | 矢坂ICトールゲート剥落補修工事(下り線) | 栃木県 | 東日本高速道路株式会社 | | 2011年5月 | 厚膜 |
| 24 | 蒜山IC薬剤庫爆裂補修工事 | 島根県 | 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 | 37.0 | 2011年11月 | 薄膜 |
| 25 | 一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事 | 北海道 | 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 | 70.0 | 2011年11月 | 薄膜 |
| 26 | 水戸ICトールゲート剥落補修工事 | 茨城県 | 東日本高速道路株式会社 | 5.0 | 2011年12月 | 超薄膜 |
| 27 | 那珂ICトールゲート剥落補修工事 | 茨城県 | 東日本高速道路株式会社 | 5.0 | 2011年12月 | 超薄膜 |
| 28 | 六日市IC雪氷倉庫爆裂補修工事 | 島根県 | 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 | 235.0 | 2011年11月 | 薄膜 |
| 29 | 小郡IC雪氷倉庫爆裂補修工事 | 山口県 | 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 | 277.4 | 2011年11月 | 薄膜 |
| 30 | 赤穂線西大寺Bo塗装他 | 岡山県 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 455.0 | 2011年12月 | 薄膜 |

スケルトン防災コーティング施工実績Ⅱ



| | 工事名 | 工事場所 | 発注者 | 面積 | 工期 | 仕様 |
|----|----------------------------|------|-------------------------|-------|----------|-------|
| | | | | (m²) | 終了 | |
| 31 | 宇都宮IC(L-5)トールゲート剥落補修工事 | 栃木県 | 東日本高速道路株式会社 | 3.0 | 2012年1月 | 超薄膜 |
| 32 | 宇都宮IC(L-13)トールゲート剥落補修工事 | 栃木県 | 東日本高速道路株式会社 | 3.0 | 2012年1月 | 超薄膜 |
| 33 | 北陸新幹線 西金沢桁端防水 第1期工事 | 石川県 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 50.0 | 2012年1月 | 薄膜 |
| 34 | 直方・勝野間御館橋橋脚耐震補強他5 | 福岡県 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 334.0 | 2012年3月 | 薄膜 |
| 35 | 徳山西IC薬剤倉庫 | 山口県 | 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 | 31.0 | 2012年2月 | 薄膜 |
| 36 | 一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事 | 北海道 | 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 | 228.0 | 2012年2月 | 薄膜 |
| 37 | 北陸新幹線 西金沢桁端防水 第2期工事 | 石川県 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 40.0 | 2012年5月 | 薄膜 |
| 38 | 山口管内アイランド損傷補修(その3) | 山口県 | 西日本高速道路ファシリティーズ株式会社 | 4.2 | 2012年5月 | 薄膜 |
| 39 | 京都縦貫道 | 京都府 | 西日本高速道路株式会社 | 95.0 | 2012年9月 | 覆工目地部 |
| 40 | 山口西部管内構造物補修工事 | 山口県 | 国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 | 13.0 | 2012年8月 | 薄膜 |
| 41 | 北陸新幹線 西金沢桁端防水 第3期工事 | 石川県 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 5.0 | 2012年5月 | 薄膜 |
| 42 | 直方・勝野間御館橋橋脚耐震補強他5 | 福岡県 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 5.0 | 2012年3月 | 薄膜 |
| 43 | 一般国道37号 黒松内町 静狩トンネル補修外一連工事 | 北海道 | 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 | 300.0 | 2012年10月 | 薄膜 |
| 44 | 一般国道39号 上川町 新大函トンネル補修外一連工事 | 北海道 | 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 | 945.3 | 2012年8月 | 薄膜 |
| 45 | 千引橋橋梁補修工事 | 大分県 | 国土交通省 佐伯河川国道事務所 | 99.6 | 2013年2月 | 薄膜 |
| 46 | 京都縦貫道工事② | 京都府 | 西日本高速道路株式会社 | 221.0 | 2012年11月 | 覆工目地部 |
| 47 | 京都縦貫道工事③ | 京都府 | 西日本高速道路株式会社 | 24.5 | 2012年11月 | 薄膜 |
| 48 | 京都縦貫道長岡京第2高架橋 | 京都府 | 西日本高速道路株式会社 | 48.0 | 2013年2月 | 覆工目地部 |
| 49 | 山口西部管内補修(下関) | 山口県 | 国土交通省 | 87.0 | 2013年2月 | 薄膜 |
| 50 | 上庶路庶路(停)線道単橋梁補修工事外(本岐跨線橋) | 北海道 | 国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部 | 64.5 | 2013年2月 | 薄膜 |
| 51 | H24舞浜大橋右岸高架橋(海側)耐震補強工事 | 東京都 | 国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 | 324.0 | 2013年3月 | 超薄膜 |
| 52 | 京都縦貫道工事大山崎 | 京都府 | 西日本高速道路株式会社 | 13.0 | 2013年3月 | 覆工目地部 |
| 53 | 阪神高速道路土木維持コンクリート維持工事 | 大阪府 | 阪神高速技術株式会社 | 58.0 | 2013年4月 | 薄膜 |
| 54 | 阪神高速道路土木維持コンクリート維持工事 | 大阪府 | 阪神高速技術株式会社 | 154.0 | 2013年4月 | 超薄膜 |
| 55 | 京都縦貫道長岡京第2高架橋⑤ | 大阪府 | 西日本高速道路株式会社 | 1.5 | 2013年3月 | 覆工目地部 |

住宅や店舗、公共事業等の新築・増改築・リフォーム工事等を行っています。

新築工事(住宅)



店舗改修工事(レストラン)



店舗改修工事(Bar)



店舗改修工事(居酒屋)





会社概要



ビジネスモデル・事業内容



平成25年5月期決算概要
及び平成26年5月期予想について

損益計算書の概要

(単位:百万円)

| | 平成23年5月期 | | 平成24年5月期 | | 平成25年5月期 | | |
|-----------|----------|--------|----------|--------|------------|--------|----------------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 前年同期比 |
| 売 上 高 | 1,139 | 100.0% | 1,253 | 100.0% | 1,374 | 100.0% | 109.6% (注)1 |
| 営 業 利 益 | 49 | 4.3% | 93 | 7.4% | 66 | 4.8% | 70.7% (注)2 |
| 経 常 利 益 | 97 | 8.5% | 81 | 6.5% | 86 (注)3 | 6.3% | 106.6% |
| 当 期 純 利 益 | 43 | 3.8% | 40 | 3.2% | 48 | 3.5% | 119.7% |

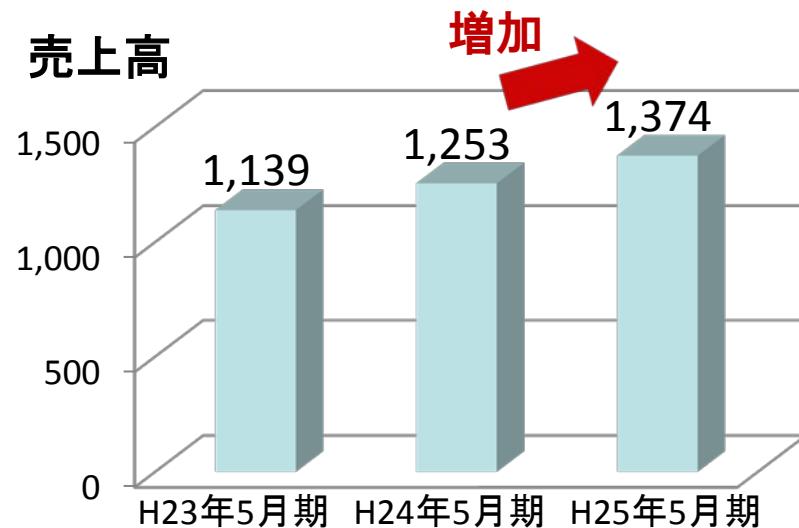
(注1)前事業年度に開設した横浜支店の受注基盤の確立及び既存店におけるパートナー(工務店等)との関係強化の取り組みによるもの

(注2)事業拡大に備えた施工・営業社員の採用等の経費の増加等によるもの

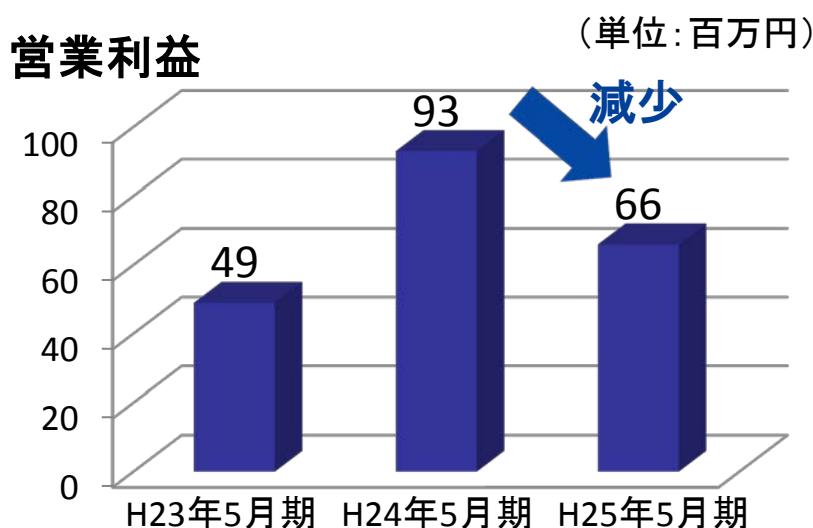
(注3)外国社債に関する有価証券利益13,695千円、為替差益6,189千円、支払利息3,388千円の計上等によるもの

業績推移

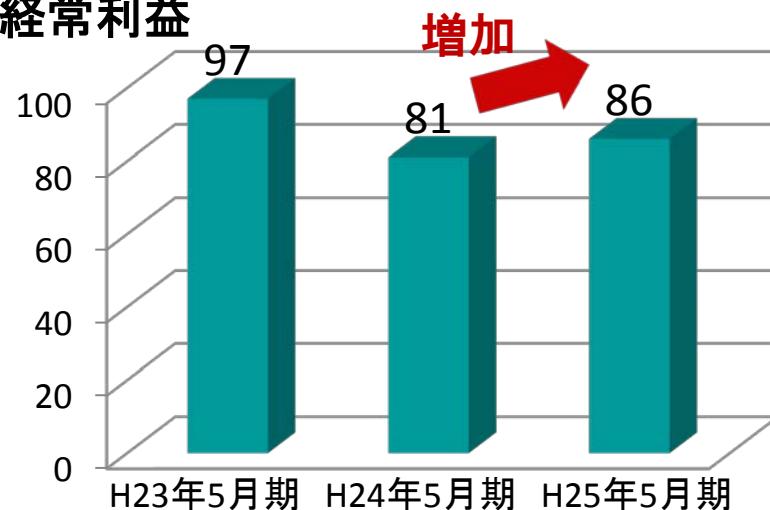
売上高



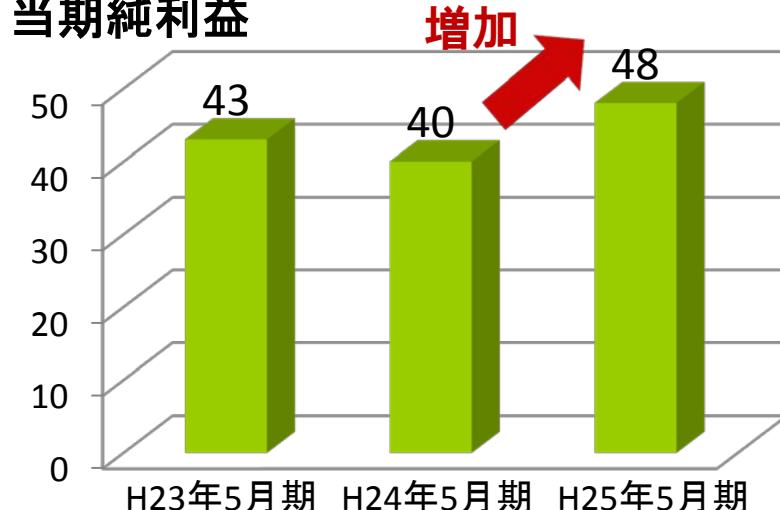
営業利益



経常利益



当期純利益



貸借対照表の概要

(単位:百万円)

| | | 平成24年5月期 | 平成25年5月期 | 増 減 |
|-----------|------|----------|----------|---|
| 資産 | 流動資産 | 419 | 523 | +104 (現預金+88、未完工事支出金+31、受取手形+19、完工工事未収入金△28、他) |
| | 固定資産 | 718 | 829 | +111 (投資有価証券+95、他) |
| | 合 計 | 1,137 | 1,352 | +215 |
| 負債 | 流動負債 | 442 | 367 | △75 (1年内償還予定の社債△100、短期借入金△50、1年内返済予定の長期借入金+44、他) |
| | 固定負債 | 213 | 398 | +185 (長期借入金+166、他) |
| | 合 計 | 655 | 766 | +111 |
| 純 資 産 合 計 | | 481 | 586 | +105 |
| 負債・純資産合計 | | 1,137 | 1,352 | +215 |

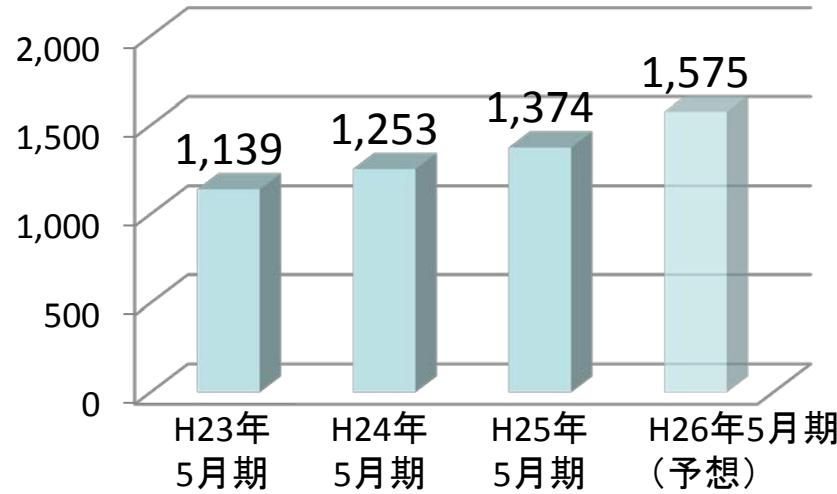
当期業績予想

(単位:百万円)

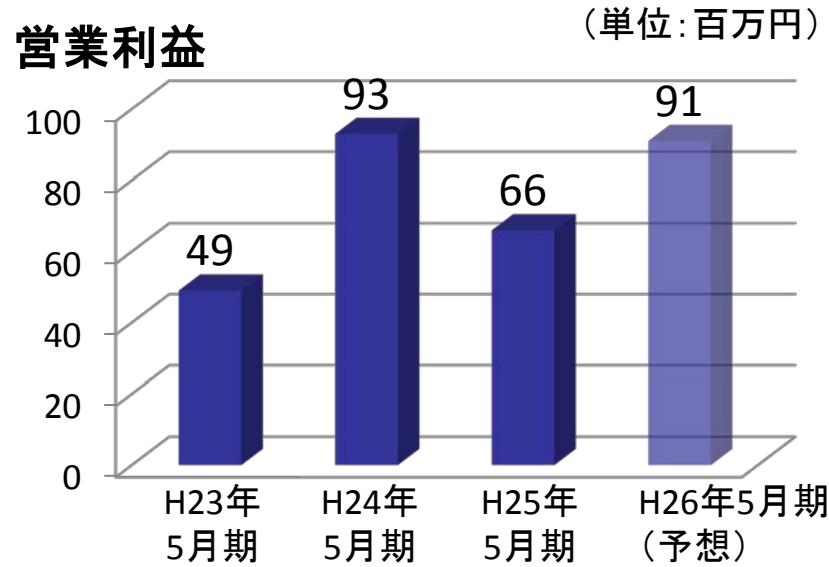
| | 平成23年5月期 (実績) | | 平成24年5月期 (実績) | | 平成25年5月期 (実績) | | 平成26年5月期 (計画) | |
|---------|------------------|-----------|------------------|-----------|------------------|-----------|------------------|-----------|
| | 金額 | 前年 同期比 | 金額 | 前年 同期比 | 金額 | 前年 同期比 | 全額 | 前年 同期比 |
| 売 上 高 | 1,139 | 119.5% | 1,253 | 110.0% | 1,374 | 109.6% | 1,575 | 114.6% |
| 営 業 利 益 | 49 | 78.5% | 93 | 188.0% | 66 | 70.7% | 91 | 137.9% |
| 経 常 利 益 | 97 | 227.1% | 81 | 83.1% | 86 | 106.6% | 94 | 109.3% |
| 当期純利益 | 43 | 121.1% | 40 | 94.3% | 48 | 119.7% | 57 | 118.8% |

当期業績予想

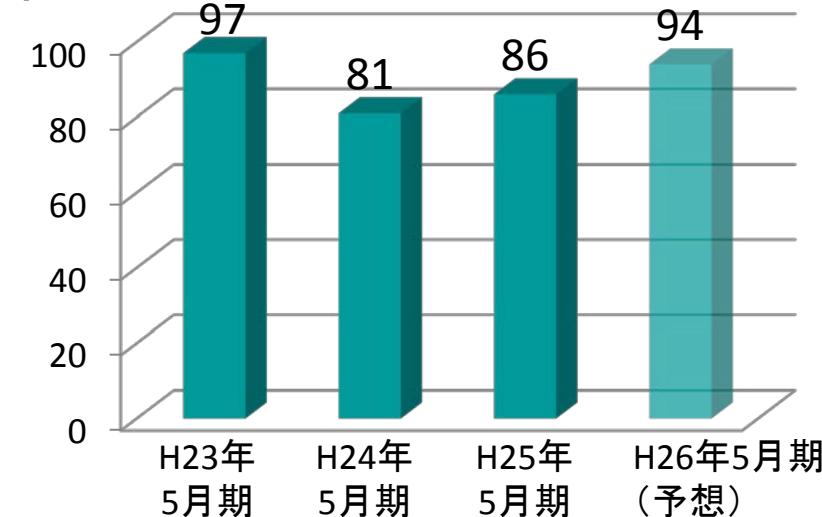
売上高



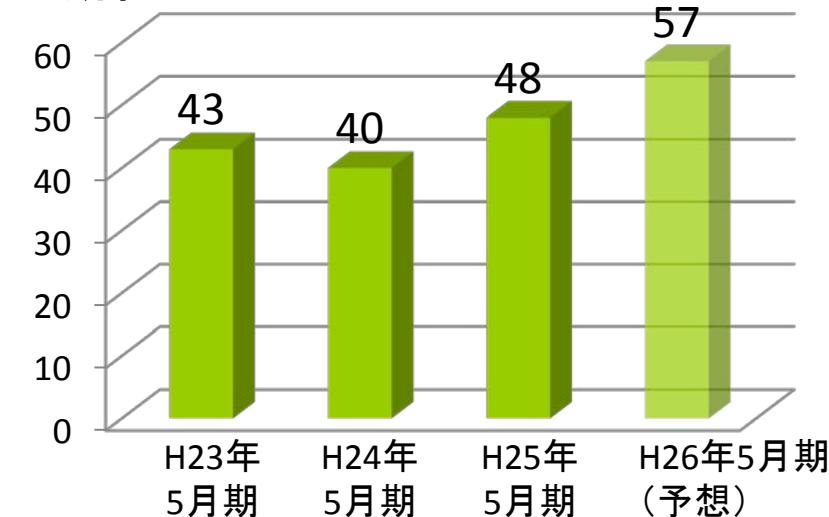
営業利益



経常利益



当期純利益



御清聴ありがとうございました。

本資料は、当社の事業内容及び事業戦略に関する情報の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的としたものではございません。また本資料に記載した意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性及び完全性を保証し又約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。



株式会社エムビーエス